

第70回応用物理学会春季学術講演会  
12 有機分子・バイオエレクトロニクス 公開シンポジウム  
ナノテクノロジーを駆使したウイルス検出最前線  
～ヒト感染性ウイルスを迅速に検出可能なグラフェン  
FETセンサーによるパンデミックのない社会の実現～

参加費  
無料

日時 令和5年3月15日(水) 13:30～17:30

会場 上智大学 四谷キャンパス (東京都千代田区)

基調講演

澤田和明 (豊橋技術科学大学)	「CMOS電位検出センサアレイ技術 によるマルチウイルス検出」
谷口正輝 (大阪大学)	「AI ナノポアを用いた感染症迅速 検査法」



澤田 和明



谷口 正輝

招待講演

牛場翔太 (村田製作所)	「社会実装に向けたロバストなグラ フェンFETバイオセンサの開発」
渡邊洋平 (京都府立医科大学)	「臨床におけるニーズとウイルス- 生体分子相互作用の最新知見」
木村雅彦 (村田製作所)	「グラフェンFETセンサの社会実装 に向けての展望」
河原 敏男 (中部大学)	「ウイルスセンサの社会実装向け ての大学の取り組み」



牛場 翔太



渡邊 洋平



木村 雅彦



河原 敏男

世話人

松本和彦 (大阪大学)	JST未来創造事業「世界一の安全・ 安心社会の実現」領域 PL)
田中健一 (三菱電機 技術統轄)	JST未来創造事業「世界一の安全・ 安心社会の実現」領域運営統括)



松本 和彦



田中 健一

主催 応用物理学会、



科学技術振興機構



※なお、シンポジウム内容や登壇者は  
変更する場合があります。  
当シンポジウムに関するお問い合わせは、  
下記Eメールまで直接ご連絡ください。  
・お問い合わせメールアドレス  
nigs-staff2@sanken.osaka-u.ac.jp  
(%を@に変えてください)

